

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報 第三百七十七號

明治三十七年十一月九日 和歌山縣

○公 文

○和歌山縣令第七十三號

本年^{八月}縣令第五十六號ハ本日限リ廢止ス

明治三十七年十一月五日

和歌山縣知事

伯爵 清 棧 家 敷

和歌山縣令第七十三號參照

本年^{八月}縣令第五十六號ハ牛疫豫防ノ爲牛羊豚及病毒汚染ノ虞アル物品輸入停止ノ件

○和歌山縣訓令甲第四十七號

郡市役所
町村役場

明治三十二年十二月本縣訓令甲第八十七號農商務統計報告規程ヲ左ノ通改定シ明治三十八年調査報告ヨリ之ヲ施行ス

明治三十七年十一月七日

和歌山縣知事

伯爵 清 樓 家 敬

農商務統計報告規程

第一條 市町村長ハ別紙第一號乃至第六十五號様式ニ據リ各種統計ヲ調査シ市長ハ當廳ヘ

町村長ハ郡長ヘ定期ヲ課ラス報告ヲ爲スヘシ

郡長ハ前項町村長ノ報告ヲ調査シ郡計表ヲ製シテ當廳ヘ報告スヘシ其ノ期限ハ別ニ

内務部長ヨリ通牒ス

第二條 郡市長ハ前條ノ外向左ノ定期報告ヲ爲スヘシ

一 米作豫想 第一回乃至第四回

二 麥作豫想

三 春蠶豫想

様第六十六號

第三條

市町村長ハ左ニ掲グル事實アルコトヲ認メタル場合ハ其ノ月日、場所、及現況（被害ノアリテハ面積、數量、）并ニ其原因等ヲ詳具シ市長ハ直チニ町村長ハ郡長ヲ經由被害見積ノ價格等）

縣報第三百七十七號

明治三十七年十一月九日

第三種郵便物認可

二

シ臨時報告ヲ爲スヘシ

但緊急ヲ要スルトキハ電報又ハ急使ヲ用ヒ尙別ニ前項ニ依リ詳細ナル報告書ヲ提出スヘシ

一 病虫害（明治三十七年一月縣令第九號害虫驅除豫防法施行規則ニ依ルモノヲ除ク）

二 風、雨、水、旱、霜、雹ノ害

三 森林ノ火災

四 漁業者ノ遭難

五 重要物産ノ生産又ハ商況上著シキ變動

六 金融上非常ノ變動

七 其他各種ノ災害及産業上ニ著シキ影響ヲ生スヘキ事件ノ發生シタル場合
郡長ニ於テ前項ノ事實アルヲ認メタルトキハ直チニ其ノ狀況ヲ調査シ之ヲ報告スヘシ

様式ハ別ニ附ツ

○辭令

○明治三十七年十一月四日

和歌山縣東牟婁郡書記

和田 稔

依願免本官

○町村長及助役ノ異動

那賀郡麻生津村長

加納川 隆三

那賀郡東野上村有給助役

田 伏 俊 三

那賀郡調月村有給助役

藪 田 仙 藏

右十一月二日認可

○觀測

明治三十七年十一月四日ヨリ三日間當地氣象概況

縣報第三百七十七號

明治三十七年十一月九日

第三種郵便物認可

三

種 類	月 日		月 日		月 日	
	前 年	本 年	前 年	本 年	前 年	本 年
平均氣壓	七六五耗七	七六二耗一	七六四耗九	七五六耗九	七六五耗〇	七五五耗三
平均氣溫	一二度四	一四度〇	一三度四	一二度四	一二度三	八度〇
最高氣溫	一七度三	一九度七	一九度〇	一七度三	一五度九	一〇度三
最低氣溫	九度六	八度八	八度三	六度九	七度五	六度二
最多風向	東北東	西北西	北 東	北 西	北 東	北 西
平均風力	三米八	二米三	三米〇	五米一	二米一	九米九
天 氣	雨後晴	晴小雨	晴	晴	曇	曇小雨
雨 雪 量	二二耗八	〇耗二	一	〇耗〇	一	一耗〇
記 事	午前時々 降雨 午后月環	午后三時 十分ヨリ 全四時廿	午前月環	午前九時 半及午后 九時五十	一	終日時々 微雨及強 風吹ク

可認物便郵種三第日八月五年三十三治明

縣報第三百七十七號

明治三十七年十一月九日

第三種郵便物認可

四終

五分迄時	午後四時
々微雨	二十八分
夕刻ヨリ	ヨリ二分
北及北東	間降霰
ニ電光	(但シ本
	年初降ニ
	シテ前年
	ニ比シガ
	六日間平
	年ヨリ廿
	七日間早
	(シ)

五分迄時
々微雨
夕刻ヨリ
北及北東
ニ電光

三分ヨリ
全十一時
半迄微雨
午後八時
廿分ヨリ
全三十五
分迄北西
ニ電雷
午後七時
ヨリ強風
吹ク

午後四時
二十八分
ヨリ二分
間降霰
(但シ本
年初降ニ
シテ前年
ニ比シガ
六日間平
年ヨリ廿
七日間早
(シ)

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

明治三十七年十一月八日印刷
明治三十七年十一月九日發行

〔委託代價〕
〔金參圓〕

和歌山縣

和歌山市久保町一丁目一番地
印刷所 和歌山市久保町一丁目二十四番地
丁目一 友大
九 天 郵 部

二五
年

訓内丁第六十四號



郡 役 所
警 察 署
警 察 分 署
市 役 所
町 村 役 場

本年十月訓内丁第六十一號中鳴門方面ニ對スル射撃演習ヲ十二日及十三日ニ改メラレタル
ニ付更ニ關係者へ警戒方取計フヘシ
右内訓ス

明治三十七年十一月十日

和歌山縣知事 伯爵 清 棲 家 教